



「練習どおりできました」

27P

明日への  
町産生乳をつかって

14P

町政を問う  
「新しい生活様式」

12P

要望決議  
コロナ対応を主に  
8項目

2P

コロナ対策  
3億円追加補正



# 地方財政急激悪化を懸念 国へ財政支援要望

## 議員 発議

## コロナ対策 第2弾

## 8月 会議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し  
地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、  
国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避け  
がたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性  
化、雇用対策  
れ、今後の地  
よって、国  
項を確実に

■提案理由  
感染症の拡大で地方自治体は、福祉・医  
療・教育・子育て、防災・減災、地方創生、経  
済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要へ  
の対応をはじめ、長期化する感染症対策に  
迫られている。令和3年度地方財政対策及  
び地方税制改正に向け要望するものです。

会議は8月6日に開催されました。報告2件、  
損害賠償案1件、財産取得案1件、補正予算案  
2件を慎重に審議し、すべて可決しました。  
ここではその一部を紹介します。

# 3億522万円 補正

詳細は4・5P



- 1 地方の安定的な財政運営に必要な  
地方税、地方交付税等の一般財源総額を  
確保・充実すること。その際、臨時財政対  
策債が累積することのないよう、発行額  
の縮減に努めるとともに、償還財源を確  
保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財  
源保障機能と財政調整機能が適切に発  
揮できるように、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減  
少することが予想されることから、万全  
の減収補填措置を講じるとともに、減収  
補填債の対象となる税目についても、地  
方消費税を含め弾力的に対応すること。

- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定  
的な地方税体系の構築に努めるととも  
に、国税、地方税の政策税制については、  
積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・  
継続に当たっては、有効性・緊急性等を  
厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極め  
て重要な基幹税であり、制度の根幹を揺  
るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、  
断じて行わないこと。また、新型コロナ  
ウイルス感染症緊急経済対策として講  
じられた特別措置は、本来国庫補助金等  
により対応すべきものであり、今回限り  
の措置として、期限の到来をもって確実  
に終了すること。

### 財政調整基金から

# 7115万円

## 取り崩し

### 地方創生臨時交付金活用

# 2億3407万円

### 国の交付限度額



■提案理由  
地方創生臨時交付金を活用し、町内事業者の事  
業継続や地域活性化を目的に、事業支援金給付事  
業及び小中学校への空気清浄機購入事業、インフ  
ルエンザ予防接種費用助成事業などを追加する  
ものです。

質 疑  
沼田議員  
問 6月会議で交付金  
の範囲内で事業を行う  
という答弁がありまし  
た。今回財政調整基金  
を取り崩してまで行う  
理由は、  
町長  
答 コロナ禍で各学校  
プールの使用ができま  
せんでした。子どもた  
ちの体力増進のために、  
年間使用可能なB&G  
海洋センタープールの  
改修などの事業を行う  
必要があると判断した  
ためです。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。  
令和2年9月25日  
宮城県川崎町議会

内閣総理大臣 菅 義偉 殿

提出先  
衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿  
財務大臣 殿  
総務大臣 殿  
厚生労働大臣 殿  
経済産業大臣 殿  
内閣官房長官 殿  
経済再生担当大臣 殿  
まち・ひと・しごと創生担当大臣 殿

# 第3波も許さず

1人5万円支給

## 要介護者家族支援

1210万円

要介護者を抱える家族の家計負担が増加していることから、不安解消のため生活支援金を給付します。要介護3～5の240人が対象で1人5万円、計1210万円。



▲家族の不安にこたえて



## インフル予防接種費用助成

1320万円

▲早めに接種を

**発症・重症化を予防**  
コロナウイルス感染症と症状が似ているインフルエンザの流行に備え、予防接種費用の一部を助成します。生後6カ月から64歳まで町内接種2020人、町外接種830人で総額1320万円。



▲遠隔授業にも備えて

**3年前倒しで**  
コロナウイルス感染症対策のため、児童生徒にタブレット端末「1人1台」の整備を3年繰り上げます。家庭学習などの学びを確保するため、346台を整備します。費用は1903万円。

## タブレット1人1台へ

1903万円

長期化を見据え

## B&Gプール環境整備

6772万円

コロナウイルス感染症への対応が長期化することを見据え、プールの機能向上を図り、安全・安心な施設環境を整備します。費用は6772万円。



▲安心して泳げるように

# 経済と両立に苦心

8月会議で可決した地方創生臨時交付金活用第2弾の33事業は命も経済も守ることを主眼にしています。主な内容を紹介します。

## 休業要請外350事業者支援

7000万円

各20万円を支給

休業要請協力金支給から漏れた350の中小企業・小規模

事業者には20万円を支給します。



▲事業を続けてもらうために

**25経営体対象**  
飼育頭数に応じ肥育1万円、繁殖5000円、搾乳3000円を町内25経営体に支給します。持続化給付金の対象者も含まれ、上限100万円です。事業費は計1100万円。

## 畜産経営継続へ支援金

1100万円



▲主要産業を手助け

**高齢者等避難GIS整備**  
**1366万円**  
**迅速な災害対応に**  
災害に備え、高齢者など避難行動要支援者がスムーズに行動できるようGIS（地図情報システム）を整備します。

## 院内感染防止5事業

373万円



▲感染は絶対に阻止

**ひとり掛け椅子**  
外来待合室の3密回避のため3人掛け椅子を1人掛けに切り替えるほか、13カ所に網戸を設置します。院内感染防止に5事業で373万円。

# 9月会議

9月会議は、決算認定案8件、条例改正案2件、議員発議案2件、人事案2件、補正案4件を慎重に審議し、すべて可決しました。  
ここでは決算について紹介します。  
(関連23ページ)

# 令和元年度 決算

## 86万円

# 自主財源確保課題

## 令和元年度歳出決算

一般会計	49億82万円
国民健康保険特別会計	11億782万円
後期高齢者医療保険特別会計	8502万円
介護保険特別会計	10億9149万円
温泉事業特別会計	1005万円
公共下水道事業特別会計	4億9718万円
病院事業会計 (3条分のみ)	8億2940万円
水道事業会計 (3条分のみ)	2億5608万円
合計	87億7786万円

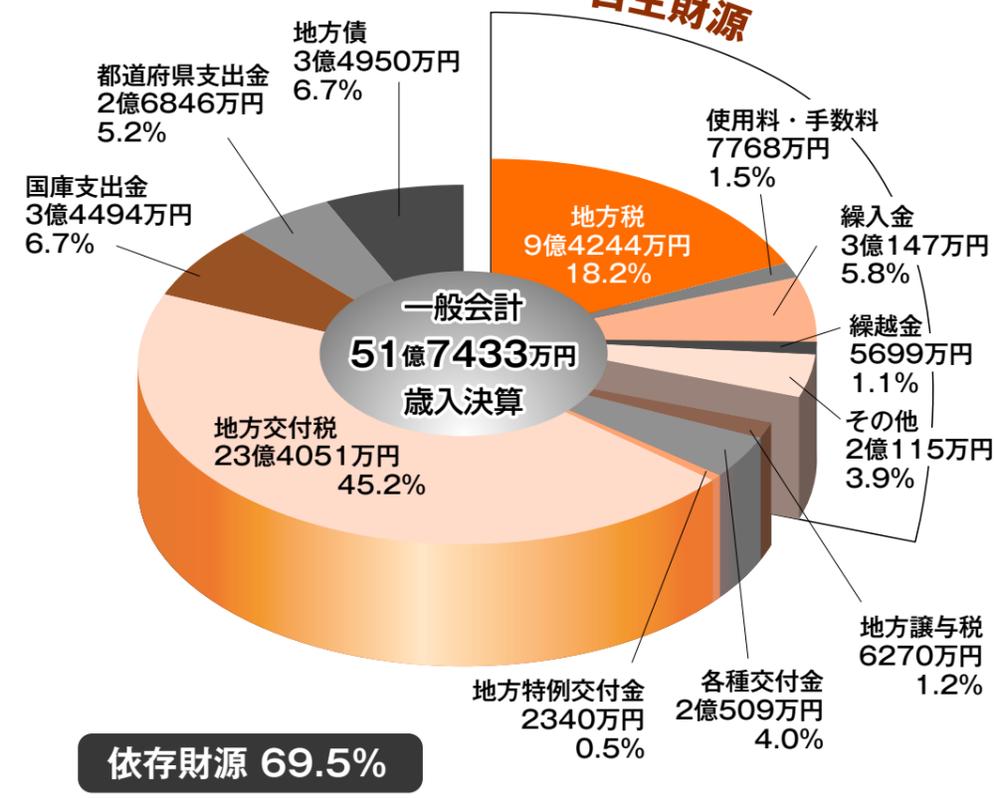
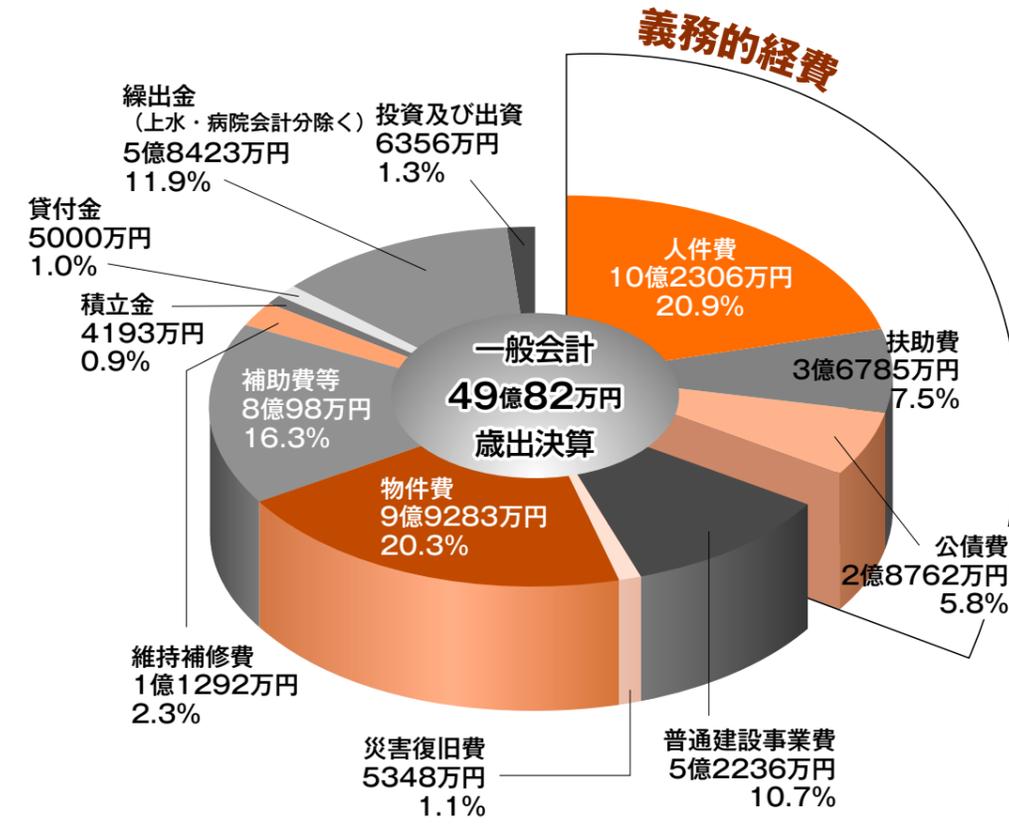
## 87億77

### 承認も

## 義務的経費

### 34.2%

義務的経費とは  
歳出のうち支出が義務付けられており、任意に削減できない硬直性が極めて高い経費を言う



## 自主財源 30.5%

自主財源とは  
地方公共団体が自らの手で徴収又は収納できる財源を言う

依存財源 69.5%

## ポイント

- 介護保険特別会計では施設介護サービスが増加、下水道事業では設備等更新事業で増加、病院事業会計では患者数の増加に伴い歳出増加。
- 温泉事業、水道事業も前年度比減少(上水道事業経営認可に係る委託費が減少)

- 小中学校空調設備工事、指定避難所の整備、台風19号災害による災害復旧工事により、地方債が増加。
- 国民健康保険特別会計前年度比15.1%減(被保険者の減少により保険給付費が減少)

# R1 決算 決算審査特別委員会

令和元年度の各種会計決算は、決算審査特別委員会（議長及び議会選出監査委員を除く）に付託され、正副委員長を互選しました。

委員会では、各課より説明を受け慎重に審査しました。質疑は121問ありましたが、ここではその一部を紹介します。



真幡善次委員長 遠藤雅信副委員長

## 人員不足の対応

**問** 遠藤（雅）委員  
消防団など慢性的な人員不足となつていますが考えは。

**答** 総務課

定数は下回っているものの活動に支障はないと考えます。ただし、団員の高齢化が課題となつていきますので、新陳代謝を行うためにも、若い方々の消防団加入を進めています。



▲生命・財産を守るために

**問** 佐藤（清）委員  
防犯費の執行額が前年比で大幅に減少していますが、防犯灯の設置は予定どおり行われましたか。

**答** 総務課

設置は予定どおり完了しています。平成30年度までに大規模な整備が完了し、現在はLED化の切り替えが主であるため、大幅に執行額が減少しました。



▲夜間も安全に

## 民間研修参加は

**問** 的場委員

職員を民間の研修へ参加させる予定はありますか。

**答** 総務課

主に職員の研修は富谷市の研修所で行っていますが、接遇研修では、民間の会社から講師を派遣してもらっています。



▲講師を招き

## 問題発生前に

**問** 遠藤（雅）委員

廃屋が相当あります。野生動物の棲み処や放置しておく防災上、問題があると思いますが。

**答** 総務課

個別に連絡を取り、対処をお願いしています。連絡のつかない所有者については、弁護士と相談し、悪影響が出ないようにしたいと考えています。



▲危険な廃屋

## 進捗状況は

**高橋委員**

**問** 古関、小沢の基盤整備事業の進捗状況は。農林課

**答** 県の審査が終わり、今後は農政局の審査を控えて、無事に終われば11月頃から同意手続きを開始します。来年度4～5月ごろ採択を予定しています。



▲整備が望まれる小沢地区

## 指導の成果は

**佐藤（清）委員**

**問** 農業技術指導員の指導体制は。また、年間通して園芸作物の指導を行うとのことでしたが成果は。農林課



▲講習会で実演指導

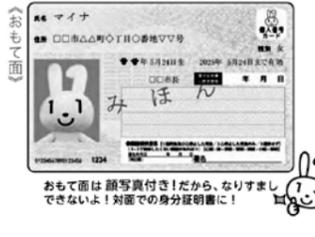
**答** 技術指導員は町とJA負担金により確保しています。各種講習会で営農指導を行っています。また、園芸作物実証事業では栽培指導をきめ細かに行っています。

## 推進効果は

**大沼委員**

**問** マイナンバーの申請件数はどのくらい増えていますか。町民生活課

**答** 元年度は920人。今年度は8月末時点で1532人です。マイナンバーの付与や通知カードの廃止に伴い、増加したと考えます。延長窓口も8割がマイナンバー関係の手続きで、認知度も上がってきています。



▲だれでも簡単につくれます

## 寄付者への対応

**神崎委員**

**問** ふるさと納税について、業者変更により寄附率が高まっていますが、返礼品に体験型を進めています。コロナ禍で対応は。地域振興課



▲一日町長体験

**答** 体験型は保留にしている状況です。コロナ禍が落ち着き次第再開を予定していますが、寄付者とも相談し進めたいと思います。

## 今後の支援は

**遠藤（美）委員**

**問** シルバー人材センターへ1650万円補助しています。現状と今後の補助金について考えは。保健福祉課

**答** 昨年度の会員数が107名で業務実績が延べ3651人です。会員数が100名以上かつ年間就労延べ人員が5000人以上で国から2分の1補助されます。補助要件を満たせば町からの補助金も圧縮できると思います。

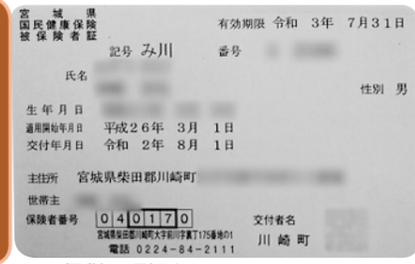


▲安全に草刈作業を

## 国保税の見直し

**佐藤（昭）委員**

**問** 町民から「国保税が高くなった」と耳にします。今後、人口減少が続くと（被保険者数も減少するため）国保税はどうなりますか。保健福祉課



▲国保税に理解を

**答** 基金を取り崩すことで国保税を下げる議論もありますが、国の財源状況が見通せないことから、基金は保有すべきです。医療費と連動するため現段階では、見直しは困難です。

# 成果を検証

# 議会が質す



# 総括 質疑

本会議で各会計概要説明後と決算審査特別委員会で成果説明後の2回、総括質疑が行われました。ここではその一部を紹介します。

# 次年へ活かせ

## 移住促進を

佐藤(清)議員

**問** コロナ禍のなか、都市部から地方へ移住も見受けられます。空き家バンクの拡充と企業誘致も含め対策を講じるべきと考えますが。

地の利を活かして

町長

**答** 川崎は仙台市と山形市の中間点にあり、便利な場所に位置することを発信していきたいです。



▲自然が素晴らしい

## 感染対策は

生駒議員

**問** インフルエンザとコロナウイルスの症状が類似しています。特に発熱患者に対する診察には十分に注意し、感染症対策が必要だと思いますが。

施設設置で

病院事務長

**答** 診察にあたり感染対策には十分注意をしています。また、発熱外来施設も設置し対応していきます。



▲早期完成を目指して

## 自主財源確保を

遠藤(雅)議員

**問** 税徴収対策やふるさと納税の増額にとまない自主財源は若干ながら増加しています。しかし、依存財源は70%と高い状況です。自主財源確保策は。

徴収に力点を

町長

**答** 税金の課税と徴収には、特に力を入れるとともに、ふるさと納税にも積極的に対応していきます。



▲納税の大切さを

## 災害時の対応は

遠藤(美)議員

**問** コロナウイルス感染症が収束しないなか、災害発生時は従来の防災・避難マニュアルでは対応が困難と考えられます。コロナ禍を踏まえた防災訓練や避難所運営の考えは。

見直しと訓練を

総務課長

**答** 避難所運営マニュアルの見直しと訓練を考えていきたいと思えます。



▲担当職員の研修会

## 受診率向上策は

高橋議員

**問** 医療費の抑制を図るため、健診事業の受診率向上が必要と考えますが。

土日も対応で

保健福祉課長

**答** 健診は健康づくりの第一歩です。受診率向上のため土・日も健診を行い、受診しやすい環境を整えていきます。



▲気軽に受診を

## 運用の見直しは

的場議員

**問** 基金運用について低金利であることから預金以外の運用方法の見直しや試験運用を行う考えは。

情報を確認し

町長

**答** 基金運用の一つとして債券運用については証券会社や銀行などから情報を取り寄せています。小額から試したいと思っています。



▲厳しい財政だが...

## 通学路確認は

大沼議員

**問** スクールゾーンの高齢化に伴い、労力不足で適期管理が困難の農家も見受けられます。法人化や公社の立上げ支援により経営継続維持される対策が必要と思えますが。

子どもの目線で

町長

**答** 安全安心の通学路は重要です。子どもたちの目線に立つつもり一度点検をしつかりやっています。



▲改修されたブロック塀

## 経営継続支援を

神崎議員

**問** 農業者の高齢化に伴い、労力不足で適期管理が困難の農家も見受けられます。法人化や公社の立上げ支援により経営継続維持される対策が必要と思えますが。

意見を確かめ

町長

**答** 農業者と意見交換し考えを確かめながら対応していきます。



▲病虫害発生要因にも

# 町議決望要議会から

8項目

ふるさと納税の増加に伴い自主財源は増加傾向にありますが、依然として依存財源は約70%と高い状況です。新たな財源確保策を検討してください。

新型コロナウイルス感染症が収束しないなか、大規模な自然災害の発生を見据えた、防災訓練や避難所運営のあり方を検討することも、関係者への周知を図ってください。

各基金は使用目的を明確にし、適正な管理に努めてください。また、低金利でもあることから、預金以外での運用についても検討してください。

行政運営におけるICT化（情報通信技術）の効果的な活用は不可欠なものとなります。住民サービスの向上に資する部分から積極的に取り組むことを望みます。

コロナ禍により都市部から地方へ企業移転や移住も見受けられます。この機会に、企業誘致・空き家バンクの拡充を図ってください。

健診事業の受診率向上対策を継続するとともに、町民へのさまざまな健康増進対策を推進することにより、医療費の抑制につながるよう努めてください。

冬期間に向けインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状が類似していることから、特に発熱患者に対する診療には十分に注意を払い、今後もあらゆる感染対策を講じてください。

農業者の高齢化に伴い、担い手・大規模農家へ農地集積が図られていますが、規模拡大により労力不足で適正管理が困難な農家も見受けられます。農業生産組織や法人化の立上げ支援など経営が継続できる対策を望みます。



▲機械も大型化



▲万全な対策で



▲健診で早期発見を



▲移住・定住の拠点



## 引き続き徴収対策を!

### 監査意見

#### 積極的な滞納整理を

歳入においては町税及び地方債は減少したものの、普通交付税や特別交付税等が増加するなど項目別に変動が大きい内容です。町税の徴収率は95.9%で昨年度と同率となっています。今後も積極的に滞納整理を行い滞納額の縮減を図る努力をしてください。

#### 即時対応できる財政力を

基金の繰入金には必要な事業へのみ活用され、着実な財源確保と計画的な負担軽減策を講じている状況です。引き続き重要施策及び災害等、緊急かつ突発的な事業に即時対応できる財政力を備えてください。

#### 徴収対策により自主財源確保を

収入未済額は年々改善されているものの、今なお一般会計で4795万円、特別会計で7916万円となっています。引き続き徴収対策の強化による自主財源確保に努力してください。

#### 安定した病院経営を

病院事業会計に関しては、安定した病院経営を持続可能なものとしていくため、引き続き長期的な経営収支の評価に基づいた経営判断のもと、利用者から信頼される病院として、適切な医療サービスの提供を図ってください。

### 財政指標の状況

	H 29	H 30	R1	健全状況	指標の説明
経常収支比率	93.1%	94.0%	<b>94.7%</b>	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない			健全	標準的な収入に対する全会計の赤字の割合です。
実質公債費比率	3.8%	4.0%	<b>4.9%</b>	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない			健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	67.2%	61.8%	<b>54.4%</b>	悪化	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	56.6%	66.6%	<b>67.1%</b>	健全	将来、償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合を示します。
財政力指数	0.319	0.327	<b>0.330</b>	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。



佐藤 清隆 議員

地震や自然災害時にはエリアメールが発信され、地域の情報がありアルタイムで受け取ることができます。これらに比べ防犯に対する情報発信は少なく感じています。

**問** 不審者等の防犯情報は、どのような連絡体制になっていますか。  
**答** 町長 住民や警察からの情報提供のもとに、教育委員会から各小中学校、こども園、富岡幼稚園、柴田農林川崎校、社会福祉協議会などに連絡をし、各学校などから保護者にメールで情報発信しています。

## 答

### エリアメール等を活用

## 問

### 防犯情報の共有は



## 7人の議員が質問

# 町政を問う



一般質問は町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 清隆 議員 ..... 15
  - (1) 安全安心メール配信サービス
  - (2) 今後の「敬老会」の開催
- ◆ 佐藤 昭光 議員 ..... 16
  - (1) スキー場のこれから
  - (2) カワウは減っていない
- ◆ 遠藤 美津子 議員 ..... 17
  - (1) 「新しい生活様式」に向けて
  - (2) 災害発生時等の情報共有
- ◆ 大沼 大名 議員 ..... 18
  - (1) 道の駅で6次産業化は
  - (2) 県道の安全対策
- ◆ 的場 要 議員 ..... 19
  - (1) テレワーク導入は
- ◆ 神崎 安弘 議員 ..... 20
  - (1) 「川崎町道の駅」基本構想
- ◆ 高橋 義則 議員 ..... 21
  - (1) 人口減少を抑制するために
  - (2) 国道457号の安全対策



▲防犯意識を高めて

**問** 安全安心メールサービスの導入についての考えは。  
**答** 町長 これまで防災情報で活用しているツイッターやエリアメールを活用して、広く町民に防犯情報を伝えられるよう、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

## 問

### 敬老会の開催方法は

## 答

### 話し合いを効率的に

人手不足により地域行事の運営が厳しくなるなか、行政区単位で行ってきた敬老会を継続させるためにも、今後の在り方を今から考える必要があると思います。

**問** 各行政区からは、どのような相談がありますか。  
**答** 町長 今年はコロナ禍の現状から開催そのものの可否についての相談が大半です。これらを除く相談は、各地区の開催にかかる事務作業の相談のみです。

**問** 行政区単位ではなく、地域集約による運営側の負担軽減を図る考えは。  
**答** 町長 既に一部の行政区では合同開催しています。人手不足については地域活動全般に関わる課題であり、将来に渡って効率的かつ有意義な事業展開が図れるよう努めます。



▲工夫をこらして



佐藤 昭光 議員

## 問 コロナ禍のスキー場支援は

## 答 さまざまな観点から議論

雪不足で苦しい経営が続くセントメリススキー場に今冬はコロナ禍が追い打ちをかける心配があります。存続のための町の対応、また支援策を伺います。



▲夏スキーは盛況だが

**問** 町は雪不足による人出減少に悩む指定管理者に3000万円を貸し付け支援しました。今冬はコロナ禍が追い打ちをかける心配があります。どんな対応を考えていますか。

**答** 町長 雪が降り、何とか返済が進むことを期待しています。自然相手なので、起死回生というより、支えていかなければと考えています。

**問** 3期目を迎える夏スキーは経営に貢献していますか。

**答** 町長 人出があつて収入を得られることは、雇用とともに固定費確保の面から大きなメリットがあります。

**問** 当初の経営者・北蔵王笹谷開発から事業者が3度変わつていますが、現在の指定管理料は格段に少額です。指定管理者の頑張りについて対応すべきか考えはありますか。

**答** 町長 指定管理料を上げれば良いというものではないと考えます。スキー場を続けば維持費やリフトの修繕費などに膨大な予算が必要となります。温暖化のなか、さまざまな観点から議論していく必要があると考えます。

## 問

### カワウ駆除なぜ進まぬ

## 答

### 引き続き県と協議

**問** 去る6月の一斉調査で釜房湖畔のカワウは目視確認の結果、1年前とほぼ変わらない生息数でした。この間、どんな対応をとつてきたのですか。

**答** 町長 県から「やみくもに駆除すると被害が分散・拡大する恐れがあり、被害現場で対策をするしかない」との指摘を受け、生息数を減らす駆除ができない状況にあります。

**問** 町の魚資源を守るために、特段の対応策が必要では。

**答** 町長 県と協議をしていますが、打開策が見えない状況です。引き続き、県に働きかけて、次の展開に進めればと考えます。



▲釜房湖の山間で盛んに子育てが

## 問

### 新しい生活様式は

## 答

### 必要な情報を周知

新型コロナウイルス感染症の拡大によって密を防ぐ新しい生活様式を定着させる具体的な施策を推進、構築していく必要があると考えます。

**問** オンライン学習の整備などを進めていますが、進捗状況を伺います。

**答** 教育長 タブレット整備費として1903万円を補正し、整備することにしました。予定では10月に入札を行い2月末までに納品できればと考えています。

**問** 人が集まる空間では、密を可視化するためのオンライン情報やアプリなど積極的に推進すべきと考えます。取り組み状況と見通しは。

**答** 町長 オンライン情報などの発信は行つていますが、各公共施設で利用人数の制限や座席数の削減、マスクの着用、手指消毒、換気といった基本的な感染予防対策と注意喚起を講じています。

**問** 文化、芸術、スポーツの活動継続に向けた支援も積極的に推進すべきと考えますが。

**答** 町長 文化協会や体育協会加盟団体が施設を使用する場合、使用料を減免しています。また、活動継続にあたり、サーマルカメラ、図書消毒器、プールの機能向上事業など、安全・安心な利用環境の整備に取り組んでいきます。

**問** 生活上のリスクを下げるための取り組みを推進すべきと考えますが。

**答** 町長 小中学校では、水道蛇口をレバー式に交換することとしました。今後の状況を見極めながら適正に対応していきます。また、住民の皆さまにも必要な情報を周知していきます。



▲レバー式で接触を減らす

## 問 共有し活用すべき

## 答 動向を見極め検討

**問** 基盤的防災情報流通ネットワーク\*の情報共有し活用すべきと考えますが。

**答** 町長 県では独自の防災情報システムを構築し、県内全市町村がこのシステムを活用しています。他の市町村の動向を見極め検討していきます。

\*基盤的防災情報流通ネットワークとは、災害対応に必要な情報を多様な情報源から収集し、組織を超えた防災情報の相互流通を担うものです。



▲ネットワークのイメージ



議員 要 場 的



議員 大名 大沼

## 問 6次産業の商品を

## 答 ジビエも利用して

町が計画している道の駅を成功させるためには、観光の振興だけでなく、地域活性化に向けた取り組みが重要と考えます。

問 農業の6次産業化等について、JAや各種団体等と商品化に向け、町の積極的な支援が必要と考えますが。

答 町長 町内の関係者の協力は欠かせません。道の駅の管理運営方式の方向性がまとまり次第、関係者の意見を伺い、6次産業化の可能性を検討し、必要な支援を行う考えです。



▲道の駅候補地

問 道の駅開業に合わせ、特産品作りや生産者の育成には時間がかかると思われれます。今後、どのように取り組んで行く考えですか。

答 町長 これまでの商品化促進・販路拡大による地場産品開発支援、園芸作物を増やす取り組みなどを継続します。また新たに、ジビエを利用した特産品開発を行いたいと考えています。

## 問 安心して通行を

## 答 県に働きかけをする

問 県道巨理大河原川崎線の割山峠付近の温度表示板は、「故障中」のままです。冬が来る前に、町民が安心して通行できるよう修理を県に働きかける必要があると考えますが。

答 町長 大河原土木事務所の回答では、年内に工事が完了することです。今後も引き続き国道県道について、地域住民から要請があった際には、現地を確認しながら、働きかけを行っていきます。



▲長年故障中のまま

問 同峠の立体交差上にある中央分離帯には、これまで車が何台もぶつかり、町民が事故に巻き込まれる恐れがあります。道に不慣れたドライバーに注意喚起する上で、「この先中央分離帯あり」などの表示が必要なのは。

答 町長 現地調査をしたところ約300m中央分離帯が設置され、路面標示や車線分離帯はあります。注意を促すための標識等はありませんでした。今後、注意喚起対策標識の設置を県に要請していきます。

## 問

## 先進的な取り組みで

## 答

## 他自治体の動向を踏まえ

テレワーク導入は、ICT化<sup>※1</sup>に伴い、庁舎内の環境や働き方改革の推進などで在宅勤務が可能となるのではないのでしょうか。また、いつ起こるか分からない自然災害<sup>※2</sup>に対してのBCP対策<sup>※2</sup>としても大変有効です。

問 人口減少が進む町だからこそ、働き方改革の推進・先進的な取り組みで、住民サービスの向上などを町内外へアピールしていくべきだと考えます。数年後を見据え、調査研究を進めていくべきと考えますが。

答 町長 社会全体がICT化に向け加速化しています。改めて住民サービスの向上に資する部分から、どのようなものが実現可能なのか、国やほかの自治体の動向も踏まえ、今後模索していきたいと思えます。

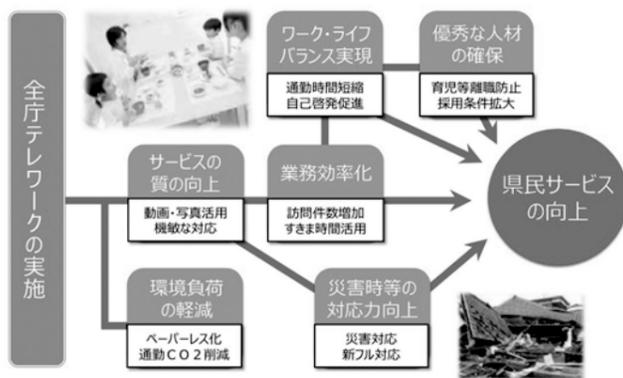
※1 ICT化とは、通信技術を使ったコミュニケーションです。  
※2 BCP対策とは、災害時に一定の業務ができるように業務継続計画を策定し、その対策を事前に準備するというのが、業務継続計画の趣旨です。

地方自治体のテレワーク導入状況

	導入	未導入
都道府県	44 (93.6%)	3 (6.4%)
政令指定都市	14 (70.0%)	6 (30.0%)
市区町村	51 (3.0%)	1670 (97.0%)

▲R2年3月26日現在の状況

## テレワーク推進で期待される効果



▲佐賀県庁の先進的な取り組み事例

問 当町も残念ながら人口減少は進んでいます。先進的な取り組みをやっていることや、若い世代にも働きやすい環境を提供しているということであれば、川崎に住んでもらえる人も増えていくのではないのでしょうか。

答 町長 どんなシステムもメリットとデメリットがあります。しかし、今、こういったことを進めている時代でもあることから、しっかりと適用できるように勉強してほしい自治体に負ってほしいと思います。



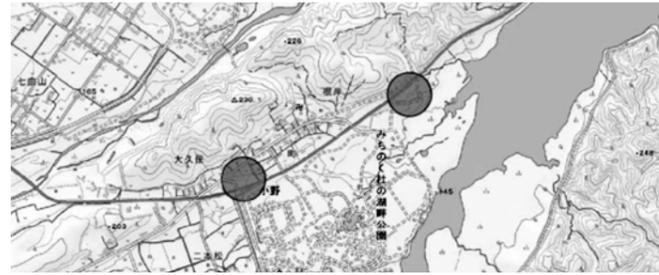
高橋 義則 議員



神崎 安弘 議員

## 問 町民意見はどのように

## 答 コロナ禍で現状は厳しい



▲優先は2カ所(候補地は4カ所)

3月に「道の駅」の基本構想が示されました。次の点について伺います。

**問** 優先候補地として2カ所挙げられ、継続的な検討をしていくとされています。財政負担を抑える観点から、みちのく公園休憩施設の役割をもつ「あだこだ」に誘導されているように見えますが。

**答** 町長 「あだこだ」ありきではありません。構想に示されています候補地は、専門的見地から客観的データに基づき選定されたものです。町民に示して議論を踏まえ開設地や施設規模を決定していきたいと考えています。

**問** コロナ禍の現状を踏まえると、令和5年開業を目指したスケジュール計画(案)は厳しいと思いますが。

**答** 町長 町民へ示して議論することは難しい現状です。遅延はあり得ると思います。

**問** みちのく公園との共存共栄は、不可欠と考えます。国道286号は、観光シーズンやイベント開催時に渋滞が発生します。町道への迂回も考えられますが対策は。

**答** 町長 交通量を再度推計する必要がありますと考えます。県や関係機関の指導を仰ぎながら主要道路からの進入が交通渋滞を引き起こすことのないように右・左折レーンの拡幅や信号機を新設したいと考えます。



▲特産品コーナーが重要

**問** コロナ禍で生活スタイルの変化を余儀なくされています。過去の震災や豪雨などの教訓を踏まえ、来場者や関係者が安心して立ち寄れる施設にすべきと考えますが。

**答** 町長 災害時に支援活動の場となり得るような機能を有した施設にしたいと考えます。

**問** 直売施設での特産品の確保が重要と考えます。近隣直売施設との競合もあり、既存出荷者と新規出荷者など体制づくりが急務と考えますが。

**答** 町長 道の駅の運営を成功に導くためには重要です。既存出荷者や新規出荷者との調整による体制づくりは混乱を招かぬよう早めに対応すべきと考えます。

## 問

### 定住できる環境を

## 答

### 健やかな育ちを支援

毎年人口が減少しているなか、どのように人口減少を抑制していくのか、そのためには基幹産業の農業、事業者、商店街を盛り上げる必要があると思えます。

**問** 農業で定住促進ができると思います。町が考える農業政策はありますか。

**答** 町長 将来を見据えた農業生産組織の在り方を含め、思いを組み込んだ施策を検討します。農業生産性の向上と農家経営の安定に取り組めます。

**問** 商店街、事業者、町民が協力しあい、お金が町内で循環できるシステムが必要では。

**答** 町長 役場内でも法令を順守したうえで、お金が町内で循環できるように話しています。町民一人ひとりが町を愛し、人を思いやり、ともに助け合わなければなりません。

**問** 子どもたちの教育について特色ある独自の教育方針を示すことが若い世代の定住につながると思いますが。

**答** 教育長 町の良さや魅力を感じることができるとともに、体験的な学びを、今後も工夫を加え継続して取り組めます。特色ある独自の教育として地域に根差す人材育成の土台を築くものと考えます。

**問** 若い人が地元に残ってもらうため住宅を新築したら一定期間固定資産税を減免するなどの取り組みは。

**答** 町長 既に一定期間減免される制度はあります。経済的な負担軽減を図り、子どもの健やかな育ちを支援するための取り組みを進めていきます。



▲将来を担う子どもたち

## 問 町道と国道交差点の安全を

## 答 安全確保に向け協議



▲見えづらい交差点

**問** 町道丸森・四ヶ鉾山線と国道457号の交差点は、安全確認がしづらい状況です。国道に張り出した立木などを伐採したり、道路管理者の県に対して要望し対策を講じるべきと考えますが。

**答** 町長 大河原土木事務所、大河原警察署、町とで交差点内の安全確保に向けて協議してまいります。立木や雑草は私有地であるので所有者から許可を得られれば支障木の伐採や刈払いを行ってまいります。

# 追跡質問

**問** 街路灯・防犯灯設置は

**答** 現地調査済み・検討中



佐藤 新一郎 議員

**問** 昨年の9月会議で国道457号朴ノ木・本砂金間と県道秋保温泉川崎線に街路灯や防犯灯設置について質問しました。その後の経過を伺います。

**答** 町長  
急カーブや危険な箇所での現地調査を行い、県担当者と協議した結果、局所的な照明の設置は可能と聞いています。また、防犯灯については町管理の防犯灯設置を検討しています。



▲県道秋保温泉川崎線



▲国道457号(朴ノ木・本砂金間)

# 9月会議

## 一般会計補正予算

### ■提案理由

2023万円追加し総額64億2693万円とするものです。

コロナウイルス感染症の影響で中止となった各イベント等の経費減額と屋外活動の環境整備、災害復旧等の事業に計上するものです。

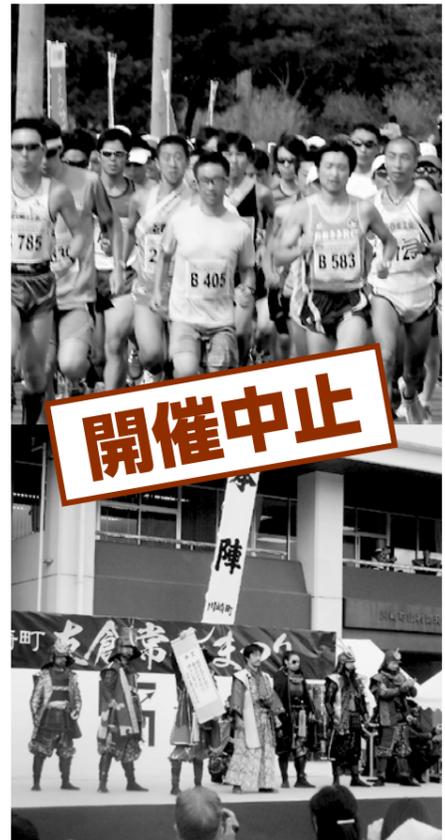
### 減額

- 道の駅計画等 委託中止の3事業分 2510万円
- 常長まつり、かわさぎ夏まつり等 720万円
- レイクサイドマラソン 400万円

### 増額

- B&G屋外トイレ改修 2863万円
- 7月大雨の災害復旧 1259万円
- 介護保険特別会計繰り出し 901万円

9月会議は、9月8日から17日までの会期で開催されました。ここでは一般会計補正予算と人事案2件を紹介します。



開催中止

▲来年をお楽しみに!!



### 質疑

総額はいくらか

佐藤(昭)議員

**問** 今回の補正でコロナ対策費は総額でいくらになりますか。おおよそ4億円

**答** 一回目は9000万円、今回3億で総額4億円の事業を想定しています。

### 精査の予定は

沼田議員

**問** 提案された減額以外の事業についての精査の予定は、全体事業を

**答** まだ半年ありますが、今後精査していきます。

# 国道286号バイパス工事始まる

仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 現地視察 8/17



▲早期開通が待ち遠しい

正副会長である仙台市長、川崎町長も参加のもと、仙台市、大河原土木事務所の担当者より説明を受けました。

仙台市側では、工事用道路が施行されており、用地買収を進めています。また、川崎町側からは、水路横断ボックスの工事が終了し、来年度には支倉台の交差点付近の改良工事を行う予定です。

## 人事案件

### 教育委員



ひらま ゆりこ 平間 百合子 さん (荒町)

任期 令和2年11月1日から 令和6年10月31日まで

### 人権擁護委員



まかべ のりこ 真壁 雅子 さん (碓石)

任期 令和3年1月1日から 令和5年12月31日まで



# 総務民生常任委員会

調査日

- ① 7月28日
- ② 8月20日

## 指定管理施設の運営と対策

### 情報の収集と支援策を

#### 【調査結果概要】

指定管理施設におけるコロナウイルス感染症対策について調査しました。

調査の結果、各施設とも職員・利用者に対する「検温、体調確認、

マスク着用、手の消毒」を実施しているほか、

飛散防止パネルの設置や消毒液の設置、館内の定期的な換気及び消毒を実施していました。

キャンプサイトの利用人数の制限、「じやっぼの湯」では休憩所のテーブル数を減らすなど、感染防止対策に万全を期して対応していました。

スキー場はリフトの乗車を一人ずつに制限、「るぼぼの森」では、



▲さらなる感染防止対策を

#### 【委員会意見】

コロナ禍により各施設を運営する施設管理者は大変厳しい運営を強いられながらも、社員一丸となり感染防止対策を徹底するとともに安全安心な施設運営を心掛け情報を発信することで、全国的にコロナ禍の影響が大きい6月の入り込み数が前

年比を上回る結果となりました。

今後も、当町の観光を支える各施設事業者と連携を取りながら、コロナウイルスの感染者を出さないための工夫と対策を講じられるよう、情報の収集と必要に応じた支援策等を検討し実施することを望みます。

## 国保川崎病院の現状

### 万全な感染対策を

#### 【調査結果概要】

感染防止対策委員会、通称感染制御チームが毎週1回、感染対策が守られているかチェックするなど万全な体制を整えていました。外

来患者への感染防止対策は、感染者とその他の患者との見極めが難しいことから、発熱外来による診療や電話診療の他、処方期間の延長などを実施。入院患者への対応は、面会制

限及び面会資格制限を実施していました。今後の課題として、発熱患者等に対する院外診療施設の設置や外来待合施設等のさらなる感染防止対策を実施予定としています。



▲コロナ対策で情報交換

#### 【委員会意見】

コロナウイルスは「かぜの症状」と酷似しているほか無症状の感染者もいることから、医療従事者の感染防止策への意識を高く持ち、患者と関わっていることが確認されませんでした。引き続き、万全な感染対策のもと町民

が安心して受診できる環境づくりと情報の発信を望みます。また、医療従事者への健康管理には十分に配慮していただくとともに、医療用マスク等の感染防御資材に不足が生じることのないよう確保に努めてください。

# 産業建設教育常任委員会

調査日 8月21日

## 小中学校のコロナウイルス感染症対策

### 受験と学校行事に配慮を

#### 【調査結果概要】

2月27日の全国一斉臨時休業要請以降、対策を講じながら小学校の開放や児童教室の拡充を進めました。

生徒の様子把握や授業指導計画・行事の見直しなど年間計画の再編成が必要となり決定事項などは速やかに保護者へ通知されていました。

タリーに消毒作業業務を委託、6月1日から授業が再開されています。サーマルカメラや空気清浄機の購入などの事業を進めています。



▲思い出に残る学校行事を

#### 【委員会意見】

新しい生活様式を取り入れた学校生活になっっています。引き続き、子どもたちや保護者に対する丁寧な説明ながら万全な感染防止対策を進めてください。また、休校により授業時間の確保が難しい状況ですが、中学3

年生は高校受験も控えていますので、特に配慮してください。多くの学校行事が中止となっています。特に小学6年生、中学3年生は最終学年となることから思い出の1ページとなる行事なども検討してください。

## こども園などのコロナウイルス感染症対策 情報収集で防止の徹底を

#### 【調査結果概要】

各施設では、消毒の強化やマスク・手洗いの励行、ペーパータオルを使用しています。家族も含めた検温や発熱状況確認書の記入を依頼、発熱や嘔吐の症

状のある場合は原則降園及び登園禁止の対策をとっています。また、接触者などを特定するため監視カメラ設置や新しい生活様式の導入により保育機を購入しました。幼児棟ではおもちやすべてを1日複

数回消毒しています。なお、多くの行事が中止となりますが、心の教育、歌や劇など芸術に触れる機会は大切との考えから、絵本の読み聞かせ等の時間を多くしている状況です。



▲保護者と教職員が一体となって

#### 【委員会意見】

全国的に保育所や幼稚園でクラスターが発生しています。国が示すガイドラインのほかに補助職員の増員を進めるなど感染防止対策の徹底を図っています。が、感染リスクを減らす対策として自動化による新しい生活様式の導入も検討してください。

い。また、子どもたちはコロナ禍を理解するには難しい年齢です。子どもたち同士が触れ合うことが成長に必要でもありません。大変難しい問題ですが、常に最新情報を収集しながら防止対策の徹底と指導には十分配慮してください。

9月に川内地区にオープンした、  
チーズ・ヨーグルト工房  
「Daily Dairy Products Yogurt」  
(デイリーダイリープロダクツヨールト)  
の川井智子さんをご紹介します。



▲いろんな経験を経てチーズ作りに



▲「カワサキ」というチーズも



▲風景に溶け込んだ工房

**Q** チーズ工房を立ち上げたきっかけは。  
**A** 酪農に携わっていたとき、出会った方から「チーズを作ってみないか」と言われ、興味が沸き北海道に勉強に行きました。全国のコンテストで日本一に選ばれたことが自信となり、立ち上げました。

**Q** 川崎産の生乳を使って、できるだけ県内の材料にこだわって商品を作っています。お店の改装も友人に手伝ってもらい、地元の大工さんや電気屋さんにお願いで造っていただきました。

**Q** どのような商品を販売していますか。  
**A** チーズを5種類、ヨーグルトを1種類を販売しています。「カワサキ」と名付けたチーズも作ってみました。今は、木・土・日曜のみ営業しています。発酵状態によって店頭に並ぶ商品が違ってきます。

**Q** 移住してみた川崎町の印象は。  
**A** みなさん、親切にしてくださいとても暮らしやすいです。お店から見える風景が好きで、お店に来てくれた人が「南フランスに似ている」と言ってくれました。

**Q** 議会に対しての意見、要望はありますか。  
**A** これからも住みよい町づくりのためにも、地元の方々と知り合う機会や共同で行うイベントなどあればいいなと思います。また、協力できることがあれば参加していきたいです。

出会った方の「言葉」

この土地のもので

その日によって

のどかな景色の中

ふれあう機会を

現地調査報告

総務民生 7/28  
常任委員会

コロナウイルス感染症により経済的ダメージを受けている町内企業の団体である「青根温泉組合」を訪ねました。現状と今後の対応について話を伺いました。



**Q** 現在の状況は

委員会は町では地域活性化の一環として、町内の宿泊施設で利用できる、宿泊クーポン事業を行っています。青根温泉でも、多くの人に利用していただき、青根の良さを再認識していただきたいが、状況はどうですか。

この難局を  
アイデアと営業努力で  
乗り切る!!

**A** やすらぎのこの時を  
組合長 多くの皆様に利用していただき感謝しています。青根の自然に調和したたたずまいの中で、やすらぎのひと時を過ごしていただければうれしいです。

**A** コロナ禍のなか  
組合長 各経営者は、この難局を乗り切るため、創意工夫を重ねて頑張っています。



思いを語る！  
原太一郎組合長



▲観光の拠点青根洋館



▲やすらぎを与えるじゃっぼの湯



【委員会意見】各経営者は、お客様が恵まれた自然環境のなかで、静寂さを感じ、ゆっくりくつろいでいただける施設を提供する努力をしています。コロナ禍のなかでも従業員一丸となり、この難局を乗り切るためにさまざまな工夫を凝らして頑張っていました。大変貴重な話をお聞きしたので、今後の政策提言に役立てていきます。

# お知らせ

## 議会傍聴の 中止について

コロナウイルス感染防止対策として、感染拡大の影響が収束し、安全が確認されるまでの間、傍聴席での傍聴を中止します。

本会議はインターネット中継及び役場1階町民ホールで視聴できます。詳しくは、町議会のホームページをご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

※次回の会議は12月8日(火)~11日(金)  
一般質問は12月9日(水)・10日(木)  
午前10時、再開の予定です。

詳しくは、  
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111  
(内線1302)

## 議会映像配信

議会の様子をご覧いただけます。



「川崎町議会」をクリックし  
議会中継を選んでください。



## 町の風景



## 笑顔を見守り続けて

撮影場所 川崎小学校西坂通学路  
撮影 広報モニター 藤原義信さん

表紙の説明 「練習どおりできました」

川崎小学校 運動会にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会  
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1  
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789  
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp  
印刷 株式会社津田印刷